

令和4年度第2回銚子市子ども・子育て会議 概要

開催日時	令和4年10月24日（月） 午後1時30分から午後2時40分まで
開催場所	銚子市保健福祉センターすこやかなまなびの城 2階会議室
出席者	12名 藤原整会長、石田光委員、大木かおり委員、堺屋綾子委員、 鎌田百合子委員、丸山明美委員、石橋誠行委員、寺村美智子委員、 久保田理恵委員、田中英子委員、神山里美委員、浅野祐一委員
欠席者	2名 小関宏昌委員、八角貴志委員
事務局	7名 子育て支援課 越川課長、井上課長補佐、佐原主査 学校教育課 古澤室長 健康づくり課 大野副主幹、林主任保健師、溝口主事
議題	1. 開会 2. 議事 (1) 令和5年度保育所・認定こども園の募集について (2) 令和5年度放課後児童クラブの募集について (3) 銚子市第2期子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて (4) 「子育て世代包括支援センターすくサポ」について (5) その他 3. その他 4. 閉会

1. 開会

2. 議事

(1) 令和5年度保育所・認定こども園の募集について

(資料1)「令和5年度保育所・認定こども園の募集について」

(事務局より説明)

(質疑応答)

委員 保育所・認定こども園の募集について、申込書や広報原稿も資料として添付をお願いしたい。また、申込書はどこで配布していますか。配布について、各保育現場では分かっているのでしょうか。

事務局 申込書や広報の原稿など、来年同時期の会議の際には、資料として添付するようにいたします。

申込書の配布場所は、子育て支援課窓口と各保育所で配布しています。継続の場合は、各保育所にお申し、配布してもらっており、保育現場では分かっています。

(2) 令和5年度放課後児童クラブの募集について

(資料2)「令和5年度放課後児童クラブの募集について」

(事務局より説明)

(質疑応答)

委員 放課後児童クラブの申込みについて、保護者から継続する場合も毎年申し込まないといけないのかとの意見があります。受付の簡素化の見直しをお願いします。

議長 記載内容はどのようなものがあるのですか。

事務局 児童の状況や家族の勤務先、申請理由など記載が多いため、継続入所の場合は、記載内容の簡素化など検討したいと思います。

委員 現在、子どもが1年生で、放課後児童クラブを利用しています。周りの保護者の中には、手続きを忘れそうになっている人がいました。公立と民間で受付場所が異なるため、周知をお願いします。

委員 自分の子どもは放課後児童クラブを利用していませんでしたが、申請忘れの無いよう、周知の徹底をお願いします。

(3) 銚子市第2期子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて

(資料3)「銚子市第2期子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて」

(事務局より説明)

(質疑応答)

委員 1号と2号の見込みと実績の割合を見ると、2号に流れている

ように思うが見直しの必要は無いでしょうか。また、見直すことで利用者によりなったり、不利益になたりすることはあるのでしょうか。

事務局 1号と2号の割合の件については、確保方策はされておりますので、今回は見直しをせず、3年後の次期計画の準備が始まりますので、その中で実際の量の見込みを検討していきたいと思えます。また、見直すことでの利用者への影響ですが、私立幼稚園の例でいいますと、国が定めている保育料の無料になる限度額は決まっているのですが、その範囲内であると聞いていますので、実質3歳以上の保護者の方は無料となっています。

議長 委員からの質問で利益不利益のお話がありましたが、見込みを市で変えた場合に、国からの収入額は変わってくるということでしょうか。それとも実績でしょうか。

事務局 市が見込みを変えたことにより、国からの収入額が増減することはなく、実績により増減するものです。

銚子市においては、この計画の期間内に人口が大きく減少、大きく増加という要因がありませんでした。例えば、流山市などは、人口が急増して、子育て世帯などが多くなっています。そういったところだと、1つ大きなアパートやマンションが建ったりしますと、子育て世帯が急激に増え、計画当初の3年前と大きく変わってきますので、国としては、そのような場合を想定して見直しをするよう基準を設けて行っているのではないかと思います。

議長 流山市は子育てしやすいということで、人口が非常に増えているようなので、銚子も今よりも子育てしやすくなってくれたらと思います。

委員 国の基準で、10%以上のかい離がある場合となっています。0歳が85.37%で明らかに10%以上かい離があるのですが、3歳未満で10%のかい離が無いから良いということでしょうか。又は、全体で10%のかい離が無いから見直しを行わないということでしょうか。

事務局 失礼いたしました。区分ごとに見ていくと、確かに0歳の部分が10%を超えておりました。説明が誤っておりました。今ご指摘のあった0歳児ですが、3歳未満の全体として見直しを検討する方法もあります。令和3年4月の時点での児童数は、入所申込を受け付けた時期が令和2年11月、12月頃になります。当時は、新型コロナウイルス感染症の関係で低年齢のお子さんは利用

控えがあったと想定しています。見込みより下回っておりますが、そのあたりを考慮し、3号全体でみると102%となり、大きなかい離は無かったと考えました。

委員 0歳で10%以上のかい離がありますが、3号全体で考えるというのは問題ないのでしょうか。

事務局 0歳に限って申し上げますと、そもそもの母数が小さいので、3歳未満全体でみると、1、2歳の方が影響が大きいと考えました。

議長 今回は、見直しは無いということによろしいでしょうか。

事務局 見直しは不要であると考えています。

(4) 「子育て世代包括支援センターすくサポ」について

(資料4)「銚子市 子育て世代包括支援センター すくサポ」

(事務局より説明)

(質疑応答)

委員 平成30年に銚子市に引っ越してきてまだ5年位です。上の子が小学生で、下の子が双子で年長になったのですが、こういうサポートがあるのが分からず引っ越してきました。皆さん、最初のお子さんは大変だと思うのですが、どこに何を聞いていいか分からないと思いますので、もう少し、周知というか分かりやすく情報がすぐ入るところにあるといいと思いました。

委員 私は保育士なのですが、すくサポの方から保育園へ連絡がありまして、こういう方がいるのですが、保育所での様子はどうかなど情報をいただいた事例があります。

すくサポについては、周知というよりは、皆さん転入などの際、必ず市役所に来ますので、もっと分かりやすい場所に貼っていただくとか、市民課の方に、お子さんがいるならチラシを渡してもらおうとか、横のつながりもあるといいのではと思います。保育園にもすくサポからの紹介があり、転入してきた方が入園した事例があります。

委員 私も保育士なのですが、保育園ですくサポのお手紙を渡したことがあります。保育園に入っている児童の保護者の方は、内容はすぐ手にすることが出来ますが、保育園に通っていない児童の保護者はなかなか知ることが出来ないので、もう少し幅広く知らせてあげられたらいいと思います。

委員 発達障害のお子さんの通う施設で勤務しているのですが、障害を持っているお子さんを持つ保護者の方は、皆さんとても悩んでいます。施設に見学に行くこともとても勇気のいることだと思い

ますが、すくサポ職員と一緒に来てくれることで道が開け、通園につながっているお子さんも多いです。ですので、もっと広がっていくといいと思います。

委員

私は、主任児童委員なのですが、すくサポから転入して補助などが必要な場合などご連絡をいただいて、民生委員と一緒にフォローさせていただいています。

主任児童委員というのは、多分皆さんよく知らない方が多いので、数年前から小学校に上がる前の説明会の時に、主任児童委員のチラシをお配りして、周知に努めていますので、すくサポも一緒にできたら、周知の一助になるのではないかと思います。

委員

私は、健康づくり課内で保健師として業務をしています。今お話を伺っていて、私たち保健師も妊娠期から子育て期に渡って支援をしている立場ではあるのですが、すくサポという名称で周知をしていなかったのかなと気づいたような状況です。ですので、これから私たちも支援する中で、きちんと広く周知していければと思いました。

議長

次に議題(4)の「その他」ですが、事務局から何かありますか。

事務局

特にありません。

議長

以上で、本日の議題は全て終了いたしましたので、議長の任を解かせて、いただきます。

ご協力ありがとうございました。

4. その他

5. 閉会